

## 製品安全データシート

## 1. 会社情報

会社名：株式会社 モナミ

住所：〒561-0821 大阪府豊中市日出町 2-1-13

電話番号：06（6331）1719

FAX番号：06（6334）9364

作成年月日：2001年 6月 29日

改訂年月日：2011年 1月 15日

製品名	バルブ グラインディング コンパウンド
-----	---------------------

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外

酸化性液体	区分外
酸化性固体	区分外
有機過酸化物	区分外

金属腐食性物質	分類対象外
---------	-------

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない

皮膚腐食性・刺激性	区分3
-----------	-----

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2 A
-----------------	-------

呼吸器感作性	分類対象外
--------	-------

皮膚感作性	区分外
-------	-----

生殖細胞変異原性	区分2
----------	-----

発ガン性	区分1 B
------	-------

	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回曝露）	区分2（肺）
	特定標的臓器・全身毒性（反復曝露）	区分1（肺）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分3
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ
- : 軽度の皮膚刺激
- : 強い眼刺激
- : 吸入した場合、呼吸器の有害
- : 長期にわたる、また反復吸入曝露により肺の障害。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

一般用途 : 業務用 ペースト状研磨材

成分及び含有量	: 炭化ケイ素 (SiC:カーボランダム)	約43%
	基油	約45%
	増ちょう材	約11%
	添加剤	約1%

CAS No. : 炭化ケイ素 409-21-2 EINECS No. 206-991-8

その他 : 該当せず

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

4. 応急処置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で洗眼する。洗眼時には決してこすらずにまぶたを指でよく開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄したのちに医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 触れた部分を水またはぬるま湯と石鹼でよく洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、必要なら医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに 医師の診察を受ける。  
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の処置

- 消火方法 : 火元への燃焼源を断つ。初期の消火には下記の消化剤を用いる。
- 消化剤 : 霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消火器を用い、棒状の水を用いてはいけない。消化作業の際には保護具（空気呼吸器）を着用する。

---

## 6. 漏出時の処置

周囲の着火源を取り除く。ウエス、吸着マット、オガクズ等で吸収させ回収する。  
河川、下水道等に流入しないように注意する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

関係法令の定めるところによるほか、下記の点に注意する。

取扱い：目に入ると炎症を起こしたり、傷をつけたりすることがある。取り扱う際には保護眼鏡を使用するなどして目に入らないようにする。  
皮膚に触れると炎症を起こしたり、傷をつけたりすることがある。取り扱う際には保護手袋を使用するなどして皮膚に触れないようにする。  
食べられません。食べないでください。  
炎、火花または高温体との接触を避け、静電気対策を行う。

保管：ごみ、水分などの混入防止のため使用後は密栓しておく。  
直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて暗所に保管する。  
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、ならびに同一場所での保管を避ける。  
消防法の規定に従い、定められた貯蔵場所、貯蔵方法により貯蔵する。

---

## 8. 暴露防止処置

管理温度：設定されていない

許容濃度：3 mg/m<sup>3</sup>（鉱油ミストとして）

ACGIH TWA 5 mg/m<sup>3</sup>（オイルミスト（精製鉱物油）として）

設備対策：ミストが発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。

保護具：通常は不要

呼吸用保護具：必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

保護眼鏡：飛沫が飛ぶ場合にはゴーグル型保護メガネを着用する。

保護手袋：長時間、または繰り返し接触する場合には耐油性保護手袋を着用する。

保護衣：通常の長袖作業衣で良い。長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には、耐油性の長袖作業衣等を着用する。

その他：スリッパ防止効果の高い安全靴の着用

---

## 9. 物理及び化学的性状

外観：ペースト状半個体

密度：約1.3 g/cm<sup>3</sup>（15℃）

滴点：約110℃

粘度：データなし

不揮発分：データなし

沸点：データなし

凝固点：データなし

溶解性：油に任意に希釈

---

---

引火点 (°C)	: 約 160°C (SETA)
発火点 (°C)	: 現在データなし
爆発範囲	: 基油の爆発限界は次のように推定される。 上限 7% 下限 1%
燃焼性	: あり
発火性 (自然発火性、水との反応性)	: なし
酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
粉塵爆発性	: なし

---

#### 1.0. 安定性・反応性

通常の状態では安定。強酸化剤の接触をさける。

---

#### 1.1. 有害性情報

皮膚腐食性: なし

皮膚刺激性: 強い力、長期または繰り返し接触すると刺激したり、傷をつけたりする恐れあり。

目刺激性: 刺激したり、傷をつけたりする恐れあり。

急性毒性: LD<sub>50</sub>: 経口 5g/kg 以上 (ラット・推定値)

癌原性: 基油は IARC グループ 3 に分類されている。

生殖毒性: 現在データなし

---

#### 1.2. 環境影響情報

分解性: 現在データなし

蓄積性: 現在データなし

魚毒性: 現在データなし

---

#### 1.3. 廃棄上の注意

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い適正に処理する。

産業廃棄物は事業者が自ら処理するか、または知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

---

#### 1.4. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載による。容器から漏洩がないこと、その恐れがないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

1 5. 適用法令

化審法；特定化学物質、指定化学物質	：該当せず	
労働安全衛生法	：通知対象物 炭化ケイ素（政令番号第311号、シリカ）	約43%
	鉱油	約45%
消防法；危険物	：指定可燃物（第4類第4石油類）	
水質汚濁防止法	：油分排出規制（許容濃度 5mg/L ノルマルヘキサン抽出分として）	
船舶安全法	：該当せず	
海洋汚染防止法	：油分排出規制（原則禁止）	
下水道法	：油類排出規制（5mg/L）	
毒物及び劇物取締法；毒物、劇物	：該当せず	
火薬類取締法；火薬類	：該当せず	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	：産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）	
PRTR法	：適用されない	

1 6. その他

この情報は新しい知見に基づき改正される場合があります。

記載情報は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理・化学的物質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものでもありません。

すべての化学品には未知の有害性がありうるため取扱いには細心の注意が必要です。

また、注意事項は通常の実用を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本品の適正な使用については使用者各位の責任において行ってください。